

☆さつまばれ通信☆

入園・入学おめでとうございます☆

この春、入園・入学を迎えた皆様、そしてご家族の皆様、誠におめでとうございます。また、進級された皆さんも、新学年が始まり、新たな気持ちで出発していることと思います。

本宮市ではスクールソーシャルワーカー配置事業が始まって、この春で早7年目を迎えます。とは言っても、まだ「スクールソーシャルワーカー（以下、SSWer）って何?!」とお思いの方も多くいらっしゃるのも事実です。



そこで、この通信を通して、改めてSSWerがどんな役割を担っているのか、どのような方法で関わることができるのかなどについて、紹介していこうと思います。

スクールソーシャルワーカーって何をする人？

突然ですが、みなさんの“福祉”のイメージはどういったものでしょうか。生活保護制度や各種手当など、経済的な支援を行ない、最低限度の生活を保障する（welfare）、といった狭義の意味でとらえていらっしゃる方も、まだ多くいらっしゃるかもしれません。

しかし、近年では、地域に住む一人ひとりがより良い生活を送る（well-being）ために、自立した生活が送れるように、狭義の意味も踏まえてさまざまな制度やサービス、地域の社会資源などを活用していくといった広義の考え方が、世界的にも主流となっています。

そのお手伝いをするのが、“ソーシャルワーカー”と呼ばれる人々で、すでに、病院（メディカル・ソーシャルワーカー）や司法（リーガル・ソーシャルワーカー）、養護施設（ファミリー・ソーシャルワーカー）、社会福祉協議会（コミュニティ・ソーシャルワーカー）など、地域に存在しています。

SSWerは、子どもたち一人ひとりが持っている力を発揮して、最良の学校・家庭生活を送れるように、“子どもの最善の利益”を家族や先生方と共に考え、促進していくために、教育現場で活動するソーシャルワーカー、ということになります。

本宮市のスクールソーシャルワーカーはどんな人？

本宮市では、本年度は主担当校種を決めず、2名のSSWerが市教育委員会を拠点として活動します。市内の保育所・幼稚園・小学校・中学校からの依頼または子ども自身や保護者の方からの依頼に基づいて、相談援助実践を行ないます。

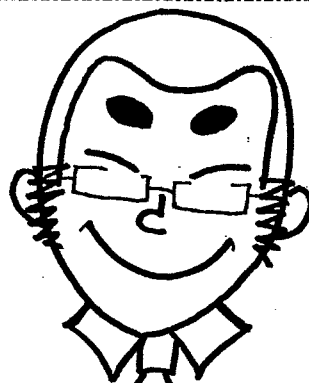
相談援助実践とは、①面談、②家庭訪問、③授業参観、④参与観察、⑤コンサルテーション、⑥情報提供、⑦関係機関等との連携・協働、⑧社会資源の発掘・開発などを通して、目的を達成していくことを言います。

今年度、本宮市で活動する2名のSSWerの自己紹介をさせていただきます。（裏面）

初めまして。杉山大成（すぎやま たいせい）と申します。
本宮市で生まれ育ちました。趣味は、水泳と音楽と遊ぶことが大好きです。

私は大学で、児童心理学や精神福祉学について学んできました。が、社会人一年生ですので、これから沢山の方々と出会い、さまざまな経験をして、成長していきたいと思っています。

私を見かけた時には、気軽に声をかけていただけたら嬉しいです！



今年度、本宮市でお世話になって7年目となります、宮地さつき（みやぢ さつき）です。

これまで、たくさん子どもたちや保護者の方々そして先生方や地域の方々に出会い、多くのことを学ばせていただけてきました。仕事以外にも、地元のフラダンスチームに参加して、不器用ながら福島県ならではの“遊び”も楽しむことができました。

今年度も、公私ともに資源開拓しながら、SSWerとしても人間としても、さらに成長していきたいと思っています。

活用方法は？

保護者の方には、以下の2つの方法があります。

- ① 所属先の先生方へご相談いただき、学校等からご連絡いただく場合
 - ② 直接、市教育委員会幼保学校課へ、電話やメールでご連絡いただく場合
- いずれの方法でも、守秘義務は守られます。

より充実した支援を行なっていくため、原則として、保護者の方の同意のもと、学校等との連携を行なわせていただくこととなりますので、ご了解ください。

また、この通信は、学校等や関係機関等へ配布するほか、“もとみやスクールeネット” (<http://www.motomiya.gr.fks.ed.jp/>) にて月初めに配信し、地域や学校などで活用いただける資源や制度の紹介、さらに本事業で実施するプログラムのご案内などをさせていただきます。

皆様には、本年度も大変お世話になりますが、子どもたちの笑顔のため、精いっぱい頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



連絡先:本宮市教育委員会幼保学校課(本庁2階)

TEL:33-1111(内線 236) E-mail:ssw@city.motomiya.lg.jp